

NEWS

ベトナムの歯科技工を視察して

■ 2017/3/1(水)~4(土) 📍 ベトナム

2017年3月1日(水)から4日(土)に掛け、JIMTEF(公益社団法人国際医療技術財団)協力のもと、日本歯科技工士会にて開催された「ベトナム国際セミナーツアー」に参加した。予てより筆者はベトナムへの視察を個人的にも行っており、今回のベトナム入りは4回目となる。初めてのベトナム入りは2013年7月のこと、当時は連綿と「チャイナリスク」が囁かれ、世界の工場と呼ばれた中国から、世界の企業は何処へと脱却するのか、今でも変わらずその議論は往々にして見掛けるが、そのような論旨が新鮮であり俄に注目が注がれていた時期でもあった。そのような背景のもと、私はベトナム入りを果たし、いくつかの現地歯科医院やラボを視察して回った。その当時得た結論としては、海外資本で運営された企業の躍進ぶりが目につき、現地の人々により運営された歯科医院やラボについては日本人からの目で見るとまだまだ改善の余地が見られたが、それでも現地の人々の熱気は凄まじく、非常に勉強熱心である事から、環境が整いさえすれば十分に国際社会に渡り合える様な力を持つのではないかと感じたものだ。そこで、2015年1月にはベトナムホーチミンで「VIET QUOC DENTAL LABO(ベトコクデンタルラボ)」を開業している日本人の国武氏の協力のもと、同ラボの従業員を対象として技工セミナーを開催した。セミナーには弊社が運営するデンタルアカデミー東京の主任講師である渡部純市を派遣し、教鞭を取ってもらった。反応はすこぶる良好であり、期待を裏切らず非常に熱心に技術を修得する姿勢を見せて頂いた。私とベトナムとの関係はこの様な繋がりがあったものだから、今回のベトナムツアーに際しては、JIMTEFの、途上国に対する医療技術の振興、医療技術者の育成、改善を目的とした趣旨に大変共感でき、日本歯科技工士会の会員として参加する事に繋がった。

2017年4月4日(火)発行「日本歯科新聞」 宗村裕之(弊社代表取締役社長)「ベトナムの歯科技工を視察して」より一部抜粋

弊社代表取締役社長の宗村裕之のレポート記事が、2017年4月4日(火)に発行された日本歯科新聞に掲載されました。日本歯科技工士会の会員として「ベトナム国立中央歯顎顔病院」、日本人経営ラボ「ベトコクデンタルラボ」、現地ラボ「デンタルラボ チー」を視察し、「ベトナム国際セミナー」に参加して実感した、ベトナムという国での歯科技工の特色や実情について語られています。



ベトナム視察団出発時成田空港にて



「ベトナム国際セミナー」にて



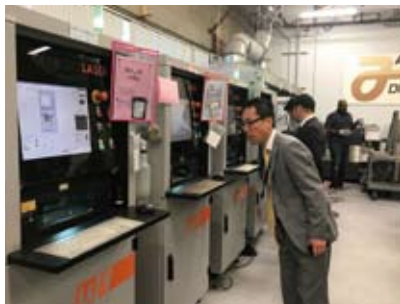
国立病院内職員と写真撮影

カリフォルニアでアーゲン社、 グライドウェルラボラトリー社を 視察、及びHMPSに参加

6th Hawaii Mid Pacific Session

2017年4月12日(水)～14日(金)、カリフォルニアにて世界最大規模の歯科用金属メーカーであるアーゲン社と、大手歯科技工所のグライドウェルラボラトリー社の視察に弊社代表取締役社長の宗村裕之、常務取締役の宗村政明、架工部架工三課課長の伊藤匡裕、ハワイ支社より代表の谷崎折磨が参加し、また2017年4月15日(土)に開催されました、HMPS(6th Hawaii Mid Pacific Session)にも参加しました。

弊社の伊藤より寄稿されたHMPSのレポートが、5月30日(火)に発行された日本歯科新聞に記載されましたので、ご興味のある方はぜひご一読ください。



アーゲン社視察中



アーゲン社新社屋前にて記念撮影



HMPS会場の様子



左/架工部架工三課課長の伊藤匡裕 右/常務取締役の宗村政明

日本歯科技工所協会／分科会 次世代経営者の会に参加して

2017/4/21(金) 鶴見大学歯学部歯科技工研修科/株式会社コアデンタルラボ横浜 増山 崇俊(架工部架工一課課長代理)

2017年4月21日(金)、弊社にて加入している日本歯科技工所協会の「次世代経営者の会」が開催され、宗村社長、筆者増山の二名で参加しました。日程は鶴見大学歯学部歯科技工研修科と、株式会社コアデンタルラボ横浜の見学、そしてIDS2017の報告と経営研究会テーマ「デジタルデンティストリーの発展と歯科技工所経営」のトークセッションでした。鶴見大学歯学部歯科技工研修科は、歯科技工士を対象とした卒業研修機関として1年のカリキュラムを組み、臨床実習やカービングなどを重ねて即戦力となる生徒を育成しています。さらに1年上級課程として、インプラントなどの専門性の高い人材育成を目指すカリキュラムを組んでいるとのことでした。その見学の際、歯科技工士の総数は平成29年2月時の資格合格者数が1000人を割り、歯科技工所6、7件あたり1人の割合であるとの事です。そのためこの研修科では、働きながら研修できるような時間設定の見直しや学費のサポート制度など、より習得しやすい環境を思案中であるとの事でした。また、それらの情報共有の為に、各歯科技工所との協力関係を構築していければ、との事でした。その後、株式会社コアデンタルラボ横浜様の社内を見学させて頂きました。3階建ての社屋に入ると、ガラス張りの部屋にGM-1000が2台設置されており、粉塵が出る機材はしっかりと隔離できる状態になっていました。社内のあちこちを借しげもなく見学者に公開されており、またISOに沿った業務の進め方についてもご教示頂き、大変勉強となりました。最後には同ラボのミーティングルームをお借りし、日本歯科技工所協会の会員同士にて、IDSの報告と経営研究会テーマに沿って意見を述べ合いました。各会員とも向かうところは同じでしたが、どのようにして進んで行くのかを模索中であると感じました。労働人口の減少や人材不足は他の業種でも同じように言われ、デジタル化が難しい業種もある中で、歯科技工業界は積極的なデジタル化を図るためにもCAD/CAMなどの機器を導入し更なる進化を目指せる職業であると考えれば、明るい兆しも見えるように思いました。今回の視察につきましては、自社内の作業や流れと比較して他の歯科技工所がどの様に問題点をクリアしているのかを学ぶ大変良い機会となりました。この様な機会を頂きました事を日本歯科技工所協会の皆さまと、コアデンタルラボ横浜の皆様に深く感謝申し上げます。

鋳造からCAD/CAM加工 石膏から3Dプリンターへ



左/石膏模型



右/3Dプリンターで出力した歯列模型



左・右/CAD/CAMシステムによる歯列模型データ



メタルを成形加工する際は、鋳型で成形する「鋳造」が長らく一般的なものでしたが、弊社ではCAD/CAMシステムを取り入れ、メタルディスクから削り出した技工物をご提供しております。鋳造の特性上、材質が均一ではないなどのデメリットが解消され、安定した品質を保つことができ、セメントスペースなどミクロン単位で設定する事が可能となりました。また、チェアサイドでの印象採得による患者様の負担を軽減するためにも口腔内スキャンが普及の兆しを見せ、それらのデータから歯列模型を3Dプリンターで出力することも可能となっております。弊社はこれからも進化し続ける医療用デジタル機器を積極的に取り入れていく予定です。



コバリトフレームから削り出したコバリトボン

EVENT

社員一同、気持ちを新たに することができた歓送迎会

📅 2017/5/19(金) 📍 ニューミヤコホテル足利

2017年5月19日(金)、ニューミヤコホテル足利本館におきまして、新入社員歓迎会&転出される社員の送別会を合わせた歓送迎会が開催されました。最初は少し緊張した面持ちでいた新入社員達も、美味しい食事と先輩方との会話で一息つけた様子で、部署を超えて和気藹々とし、終始和やかな様子であつという間に時間が過ぎていきました。ハワイ支社へ移られる方、部署を異動する方、新卒の方、中途入社の方、様々ですが、ご縁を大切に、社員一丸となって邁進していこうと気持ちを新たにすることができた歓送迎会となりました。



ホテル内にある眺望抜群のレストラン「ラ・ベルビュー」にて開催



「よろしくお願いします!」新入社員達からも笑みがこぼれました

EVENT

社内カービングコンテスト 「C-1グランプリ 2017」 結果発表

📅 2017/5/19(金) 📍 ニューミヤコホテル足利

恒例の社内カービング大会が年頭に開催され、受賞者が確定しましたのでここに受賞者と作品を掲載します。受賞者発表は歓送迎会の中で行われ、会場は大いに盛り上がりを見せました。石膏棒を削り、歯の形に成形するためには熟練の技を要し、歯の形態をいかに理解しているかが大変重要となります。



飯野竜平 東京支社
このような賞を頂き大変嬉しく思います。今後も技術向上に励んでいきます。



黒田郁弥 架工部架工一課
カービングはとても大切なのでこれからも臨床に活かしていけるように練習したいと思います。



尾林洋隆 義歯部義歯一課 課長
受賞大変光栄です。カービングは技工の基礎ですので、これからも腕を磨きたく思います。



菅原愛里 架工部架工三課
大変うれしく思うと同時に次回もがんばらねばと思いました。来年も受賞できるようにがんばります。

NEWS

デンタルアカデミー東京がスタート

元々ご愛顧頂いておりましたマスターセラミストスクールも2017年度より「デンタルアカデミー東京」へと名称変更し、この4月より各コースがスタートしております。

当校は今年度より間口を広げ、歯科技工士のみならず、歯科医師、歯科衛生士の方も対象としており、実際にドクターの方もご受講頂いております。

歯の形態を学びたい、技工物についてもっと知りたいなど、ご興味のある方はホームページから資料をご請求ください。



10月より下記のコースが始まります 半年制/月に土日の2日/全12日間

- EX インプラントEX コース
- ASANO コース
- エビテーゼ コース

URL <http://dental-academy.tokyo/>

日本歯科技工士会様と日本歯科技工所協会様、そして陶友会のいずれかの会員の方は入学金免除としておりますので、ご検討中の方はご連絡頂ければと思います。

歯作を

単純な様で奥深い
この使命のため、
私たちは技術を磨き
人を育みます。

グローバルに作る

最新システムで作る

職人の手で作る

ハワイ支社を設けることにより、海外の最新情報、歯科材料、システムなどをスムーズにご提供する事が可能となっております。そして、海外で活躍している歯科事業者ともネットワークを構築することで海外の歯科事情についても御案内可能です。

審美的にも機能的にも優れた技工物をご提供するためには、歯科技工士達の技術と、それを支える最新技術が必要不可欠です。弊社では最新のCAD/CAMシステムからプレスファーンネス、機能性の高い義歯をご提供するためのシステムを多数導入しております。

各学会の認定を各歯科技工士が取得することにより、ご要望に正確にお応え出来るようにしております。足利セラミックラボラトリーでは、学会認定技工士ならではの技術力に裏打ちされた高精度の技工物をご提供しております。



<p>日本口腔インプラント学会 認定歯科技工士 5名在籍</p>	<p>国際口腔インプラント学会 認定歯科技工士 6名在籍</p>	
<p>日本歯科技工士会 認定講師 1名在籍</p>	<p>日本歯科技工学会 認定士 1名在籍</p>	<p>BPSシステム 認定技工士 2名在籍</p>
<p>その他所属学会</p> <p>日本インプラント臨床研究会 SJCD国際ナショナル デンタルコンセプト21 日本歯科技工士会 / 日本歯科技工学会 日本顎咬合学会 / 日本歯科審美学会 日本デジタル歯科学会 日本臨床歯科CAD/CAM学会 日本歯科技工所協会 小嶋会 / スタディグループ「あゆみ会」</p>		

株式会社 足利セラミックラボラトリー

群馬県太田市東新町 672 TEL 0276-20-5670 FAX 0276-20-5671

株式会社 ACL Hawaii, Inc. 1600 Kapiolani Blvd., Suite 1227 Honolulu, Hawaii 96814 U.S.A TEL (808) 947-2128
 仙台営業所 宮城県仙台市泉区住吉台東 3-10-7 TEL 0120-1-372-18
 デンタルアカデミー東京 東京都文京区本郷 2-8-1 寿山堂ビル 5F TEL 03-3811-0223 FAX 03-3811-0240
 横浜デンタルマート 神奈川県足利市中川町 3771-2 TEL 0284-72-5028

お気軽にご連絡ください

営業時間: 8:00~18:00 (日祝を除く)

0276-20-5670

QRコードをお読み込みください

info@acl-jp.com

